

少数台数のリコール届出の公表について (令和6年6月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和6年6月は8件の届出がありましたので公表します。

1. 三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月6日	5486	車名：ユニキャリア 型式：YDR-F191 通称名：FD80-4 他	17台	令和 3年 7月 2日 ～ 令和 4年 3月 23日

不具合の部位等

フォークリフトのステアリングアクスルにおいて、ステアリングアクスル製造時の加工が不適切なため、正規寸法でないものがある。そのため最大舵角までハンドルを左方向に操作した場合、左後輪がステアリングアクスルに干渉するおそれがある。(保安基準第11条に抵触)

2. ヤンマーアグリ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
6月10日	外3825	車名：ジョンディア 型式：－ 通称名：JD-8R370	1台	令和 4年 6月 23日

不具合の部位等

農耕トラクタのフロントサスペンションにおいて、ボールジョイントの組立が不適切なため、ナックルハウジングに正しく取り付けられていないものがある。そのため、そのままの状態で行くと、ボールジョイントが早期に摩耗、あるいはナックルハウジングが損傷し、最悪の場合、ハウジング部が破損し、走行できなくなるおそれがある。

3. ピーシーアイ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
6月10日	外3826	車名：ロイヤルエンフィールド 型式：ME3ESP15 通称名：SUPER METEOR650	68台	令和 4年12月13日 ～ 令和 5年 5月 7日
不具合の部位等				
騒音ラベル及び車台番号ラベルにおいて、記載内容の確認が不十分なため近接排気騒音の騒音値及び測定回転数が誤っている。そのため、協定規則第41号に適合しない。また、自動車検査証の備考欄に誤った騒音値及び測定回転数が記載されているものがある。				

4. ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月13日	外3711	車名：BMW 型式：ZAA-62EF67 通称名：BMW iX1 xDrive30	83台	令和 5年 2月10日 ～ 令和 5年 3月22日
不具合の部位等				
フロントアウトプットシャフトにおいて、製造が不適切なため、規定以上の強さで当該シャフトが軸受に押し込まれたことにより、組付け後の嵌合力が規定以上になっているものがある。そのため、軸受が変形し、スプライン部に緩み生じ、固定クリップ部が破断して外れることで駆動力が失われ、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。				

5. トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月14日	5498	車名：トヨタ 型式：6BA-MXUA80 通称名：ハリアー 他	14台	令和 6年 2月 2日 ～ 令和 6年 2月 3日
不具合の部位等				
前面および後面ガラスにおいて、接着工程の管理が不適切なため、接着が不十分なものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車両振動等により接着が剥がれて車室内へ水が浸入し、最悪の場合、ガラスが脱落するおそれがある。				

6. ポルシェジャパン自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
6月20日	外3812	車名：ポルシェ 型式：ZAA-J1MB 通称名：Taycan 4S 他	88台	令和 2年10月19日 ～ 令和 5年10月31日
不具合の部位等				
高電圧バッテリーにおいて、不適切に製造されたバッテリーモジュールが内蔵されたものがある。そのため、バッテリーモジュールの内部短絡が発生し、最悪の場合、熱によるバッテリー異常が発生し、火災に至るおそれがある。				

7. ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月24日	外3814	車名：BMW 型式：3CA-42EG20 通称名：BMW X1 xDrive20d	1台	令和 5年 8月29日
不具合の部位等				
後部座席中央のヘッドレスト用ガイドスリーブにおいて、製造管理が不適切なため、バックレストフレームに正しく溶接されていない部品が組み付けられている。そのため、衝突等の衝撃によりバックレストフレームからヘッドレスト用ガイドスリーブが外れ、後部座席中央の搭乗者の頭部や頸部の後傾を有効に抑止できず負傷するおそれがある。				

8. ASF 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
6月28日	外3817	車名：柳州五菱 型式：不明 通称名：—	59台	令和 5年 6月19日 ～ 令和 6年 2月 9日
不具合の部位等				
ブレーキフルードリザーバータンクとブレーキマスターシリンダー間に装着されているブレーキホースについて、材質の選定が不適切なため、当該ブレーキホース内のブレーキフルードと化学反応を起こすものがある。さらに、化学反応により溶出したブレーキフルードがブレーキマスターシリンダー内のカップと化学反応を起こし、カップが劣化することがある。そのため、低速でブレーキを踏み続けると、ブレーキマスターシリンダーの液圧が低下し、制動力が低下するおそれがある。				

【参考】

●令和6年6月のリコール届出件数

全体 (件)		内 訳 (件)	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	18(-1)	16(±0)	2(-1)
輸入車	17(-1)	11(±0)	6(-1)
計	35(-2)	27(±0)	8(-2)

※ () 内は、対前年度同月比

●令和6年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数 (件)			対 象 台 数 (台)		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	6(-11)	9(-2)	15(-13)	138,920(-270,681)	8,984(-42,176)	147,904(-312,857)
5	12(+2)	16(+9)	28(+11)	360,641(+75,824)	161,635(+143,833)	522,276(+219,657)
6	18(-1)	17(-1)	35(-2)	380,415(-711,202)	39,246(-2,130)	419,534(-713,332)
小計	36(-10)	42(+6)	78(-4)	879,849(-906,059)	209,865(+98,266)	1,089,714(-806,532)

※ () 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・柏原 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
--